

事業名 【所管局】	寄せられた主な意見の概要	事業への反映内容
鉄道駅バリアフリー調査委託 【都市整備局】	<ul style="list-style-type: none"> エレベーターなどの位置や経路も調査対象にしてほしい。 駅に設置されているエレベーターは狭く、大型車いすでも利用可能なエレベーターを増設してほしい。 	鉄道事業者からヒアリングを行い、バリアフリー施設に関する駅ごと、出口ごとの状況を駅カルテとして取りまとめます。
	<ul style="list-style-type: none"> 駅構内のトイレの設備を調査してほしい。 ユニバーサルシートの設置を進めてほしい。 	バリアフリートイレの整備状況についても調査を実施します。
	<ul style="list-style-type: none"> 階段が使えればすぐの乗換も、ベビーカーの時は一度改札を出て、遠回りをして行かないと乗り換えられない。 車椅子ではエレベーターがある改札と行きたい改札が離れている時は本当に大変。 	既に確保されているバリアフリールートと最短経路の比較による複数ルートの必要性や、乗換ルートの必要性を指標として設定し、整備が必要となる駅の検討に反映します。
働く女性のウェルネス向上事業 【産業労働局】	男性の理解や参画が不可欠だと思う。男性側のタブーをなくして、我が事として取り組んでもらいたい。	男性の理解を促進するため、男性向けに特化したオンラインセミナーを実施します。
	専門家と協力して普及啓発ができるとうい。	調査結果を踏まえた発信・広報において、専門家の医学的な視点による記事を設けます。
防災アプリの機能拡充 【総務局】	初期設定の利用モード選択画面が分かりにくい。	全体のレイアウトやデザインを修正し、直感的に利用することができる防災アプリを構築します。
	スマホの容量が足りない時もあるので、インターネットでも見られるようにしてほしい。	オフライン時を想定し取得したデータの保存の仕組みを変更することや、ブラウザで閲覧できるものはアプリ内に搭載しない等の工夫をします。
	子供が親しみを持てるように防災に関するクイズコーナーを作ったりしてより身近に災害対策への意識を持ってもらうとうい。	これまで実施してきた防災模試のノウハウを生かして、クイズコンテンツを充実させます。
	こども・高齢者以外にも都在住の外国人も利用しやすいアプリにするとよりよいのではないかな。	これまでの4言語（日本語、英語、中国語、韓国語）に加え、「やさしい日本語」による表示を行います。
	何よりも使いやすさとアプリの軽さを重視してほしい。	複数併存するマップのレイヤー化やコンテンツの整理統合を図ることで、容量を軽減し使いやすさを向上させます。

事業名 【所管局】	寄せられた主な意見の概要	事業への反映内容
子育て情報共有アプリ・サイト 【福祉保健局】	<ul style="list-style-type: none"> ・一般論ではなくできれば体験談を踏まえたリアリティある情報が欲しい。 ・オムツの替え方、お風呂の入れ方など、短い動画があると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てで困ったことなどの経験談を募集した上でコンテンツを作成することにしました。 ・子育て中のタレント等を活用した動画を作成し配信することにしました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家のアドバイスが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児ノウハウや実践的な情報を漫画で配信し、あわせて専門家等の解説記事を掲載することにしました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・とうきょう子育てスイッチをあまり知らないので啓発をしっかりと欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人気漫画・アニメとのコラボレーションやトレインチャンネルを活用するなど、積極的な広報を展開することにしました。
T O K Y O シニア食堂推進事業 【福祉保健局】	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代が交流できる場にしてほしい。 ・ふれあいのイベントがあると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交流機会の増加を図る観点から、会食事業の開催に加えて高齢者の心身の健康増進や安全安心な日常生活に資する講座等の開催や、多世代交流機会の確保など、孤独感の解消や生きがいの増進に資する取組を行う場合も支援の対象とすることにしました。
マンション管理不全予防・改善支援事業 【住宅政策本部】	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しの失敗例や不透明なコスト構造の注意アドバイスを中立の立場から指南頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期修繕計画の作成と修繕積立金の設定、長期修繕計画及び修繕積立金の見直し、大規模修繕工事の実施に対するアドバイザー制度の利用についても支援の対象としました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・長期修繕計画を円滑に見直すには、ハード面だけでなくソフト面（人のつながり、コミュニケーション）の重要性を見直す、認識することが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理適正化への体制づくりとして、①管理組合が無い場合は、世話人になれる人材の発掘・確保と世話人会の設定を行い、管理組合の設立への合意形成を図ること、②管理組合等がある場合は、その実体化や総会開催支援を行い、区分所有者の問題解決への意識醸成を図ることに対するアドバイザー制度の利用についても支援の対象としました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・管理組合の無いマンションに積極的に支援しないと意味がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理組合の無いマンションに対しても、管理適正化への体制づくりとして、世話人になれる人材の発掘と意識付け、世話人会の開催などを行い、当該マンションの具体的な課題の解決策を説明して、管理適正化の必要性を啓蒙することに対するアドバイザー制度の利用についても支援の対象としました。